

②金婚式事業

執行部の説明

ここ数年のコロナ禍のため、老人クラブが実施していた金婚式事業が行われておらず、非常に残念に感じている。50年添い遂げられた方の節目をお祝いしたいと思う。事業実施は令和5年2月で計画し、約200組の参加を想定している。今年度は、これまでに金婚式を迎えた方を対象とし、申し込まれた方全員に記念品を贈呈したいと考えている。来年度以降は、その年度に金婚式を迎えられた方を対象とする。この事業は令和2年度に計画していたが、コロナ禍で中止した。新型コロナウイルス感染症は依然として収束していないが、行動規制が問われない等の状況を鑑み、再度計画したものである。

委員の意見

- ◇ 令和4年度の事業とするなら、しっかりと内容を練って当初予算で計上すべきであった。9月補正予算での計上となっているが、そもそも補正予算とは、市長も提案理由の説明で言われているが、国の補助金等の変更や、緊急でやむを得ない場合などに予算の追加や変更を行うものであり、金婚式事業は補正予算で計上する事業として不適切である。したがって、補正予算からは削除すべきである。
- ◇ 近年の多種多様なライフスタイルを認めていこうとする社会情勢にあって、行政が一つの家族形態のみを取り上げて祝うことには反対である。老人クラブ連合会が自主的に行っている事業に対して市が介入することは、団体の自主性や事業目的を害することになるのではないかと。死別や離別されている方への配慮がみえず、参加を自己申告としているなど、事業内容の工夫や事業実施に対する慎重さがみえない。老人クラブ連合会が主催する金婚式の対象とならない方を対象としたいと言いながら、対象者の把握が不十分であり、事業内容の説明が十分なものとなっていない。

③自転車購入補助金

執行部の説明

コロナ禍における燃料費高騰により、自動車利用における市民の経済的負担が大きくなっている。公共交通の利用に課題のある地域も多く、通勤通学の交通手段が自動車という方も多くいる本市において、通勤通学における負担が増加していると考えられる。この事業は、通勤通学の交通手段を自動車から自転車へ転換することにより、燃料高による経済的負担を緩和するとともに、身体を動かすことによる健康増進を進めるため、自転車購入費の一部の補助をするものである。

委員の意見

- ◇ この事業は補助対象者が限定的である上に、事業目的に沿った対象者がどれほどいるか不透明である。また、例えば、赤ちゃんと移動するために自転車が必要な方、中学校・高等学校等への入学で通学用自転車が必要な方などが多くいると考えられるにもかかわらず、これらの、喫緊に自転車を必要とする方は対象とならないために補助を受けることができない。物価高騰による負担軽減と、健康増進という目的に反対するものではないが、こうした事業内容は、補助金事業として不適切であり、補正予算からは削除すべきである。
- ◇ 物価高騰に対する負担軽減の目的が自転車購入補助となることが理解できず、事業に賛成できない。市が想定する事業効果を検証できず、事業効果が出るのかについても疑義があるため、もう少し慎重に考えてほしい。転売目的等の、事業目的に反する申請を招きやすく、適正な申請であるかどうかの確認も難しい。